



# 第1回定例市議会でもがいた市議質問

## 夕張財政破綻から10年一再生に向け新事業計画



質問2 安定生産、付加価値などで更なる雇用を目指したい。

3月9日から開催された、第1回定例議会において、くまがい桂子市議の質問と答弁の概要をお知らせします。

### 子育て支援策・若者定住・雇用づくり 教育環境水準の引き上げ等について

#### 1、若者の定住と子育て支援について

質問1 保育料、中学卒業までの医療費の無料

化について、収入による規制等は。

答弁1

保育料は2子目以降全員無料化する。医療費の収入基準は、児童手当と同基準。大多数の世帯が該当する。

質問2

「ニーズに即した住宅の多様化」「住宅取得やリフォームへの支援」の具体策は。

答弁2

単身者向け賃貸住宅の補助金について、応募状況を見て家族向け等の条件も調整したい。住宅取得やリフォーム費用について、転入者や子育て世帯に手厚く、市内業者が施行すると更に増額となるよう、補助金を計画している。

答弁2

H27年度から植栽をすすめ、薬木の下草刈りが10年程度、伐採・皮ハギが15年目から。その間、その山林にクローバーを植え、地元養蜂家にハチミツの生産してもらい、特産品としてブランド化する。

答弁4

課題を可視化し、学びの場をつくり、活動人口を育て、課題から価値を創出する、地方創発型の産業を興したい。

質問5

炭層メタンガスについて、28年度の試掘でわかったことは。

答弁5

944Mの最深部に

#### 4、教育行政について

質問1

教育環境水準の引き上げとは。

答弁1

学校教育では、幼・小・中・高の学力向上に向けた対応の一体化、ICT教育の充実、英語教育の更なる充実、

転手育成の機能も担い、いて。中型・小型の需要増にも備える。

答弁2

『人材バンク』の整備により、指導者の意識向上が図られ、住民一人ひとりが学びたいことへのアプローチが可能になる。H31年度開設予定の複合施設では、道の人材バンク等の情報も一元管理し、市民への学習環境の整備を加速化する。文化センター、図書(館)コーナー利用促進に努め、一気に教育環境の水準を高める。専門的知識を持つ市民の登録を全庁横断的に、精力的に進め、有償・無償で活躍していただく。

質問3

夕張メロンの新たな担い手の独立に向けての事業とは。

答弁3

就農希望者に地域おこし協力隊として、加工用メロンを生産してもらい、技術指導をしながら夕張メロン生産の担い手になってもらえるよう支援していく。

質問1

ズリ山から石炭を産出する事業で、さらに雇用の増が期待できるのか。

答弁1

安定生産、付加価値などで更なる雇用を指したい。

質問2

産業連携によって「地方創発型の仕事、

#### 3、地域公共交通について

質問1

「小規模輸送を担うNPO等の交通事業体で、交通体系を充実させる」とは。

答弁1

現在、地域交通事業では、路線、デマンド、スクールバスなど、人員が不足している。運行管理の一元化や、運

質問3

市所蔵の美術品等の取り扱いについて。

答弁3

文化スポーツセンター・清水沢公民館・小中学校のロビーなどで展示しているが、文化スポーツセンターでの展示数を増やし、小中学校の余裕教室を活用して移動美術展を計画している。新設の複合施設でも展示を検討中。

# 「森友学園疑惑」、「共謀罪」法案提出の安倍政権打倒を―女鹿武さんが訴え

3月19日(日)、10区国政政策委員長女鹿武さんが4度目の夕張入りをしました。

暖かい日差しの中、紅葉山の3か所で、街頭演説し、「森友学園疑惑」を中心に、テロ対策を口実にした「共謀罪」(新治安維持法)法案提出の安倍暴走政権の危険性を市民に訴えました。

来る総選挙では、野党統一候補が勝利し、戦争への道をひたすら突き進む、安倍政権を打倒し、地域住民が安心して暮らしていける住民本位の政治を取り戻すことが必要と語りました。



## 夕張市文化協会三賞授与式開催

3月25日ホテル・マウントレースイで夕張市文化協会三賞授与式が開催されました。受賞者個人・団体は以下の通り。(右側より)

- 【文化協会賞】 小馬龍雄様 (俳句同好会)
- 【市長奨励賞】 ゆうばりキネマ・クラブ様
- 【教育長奨励賞】 夕張太鼓保存会「竜花」様
- 【文化協会奨励賞】 夕張国際映画祭歓迎団様



## くずさんの夕張歴史散歩(67)

### 六項目の要求

一、の谷旅館で夕張の各支部から集まり、6時間に及ぶ論議の末にまとめた要求は、次の通りです。

- 一、今回の事件に対して責任を問わざる事。
- 二、爾今、労働条件の維持改善の場合は、全労働者及び本組合委員と会社と協議決定の事。
- 三、今回引き下げの賃金は一割を限度とし、出面賃金は従来通りとする事。
- 四、分配所の販売品値段を一割方引き下げる事。
- 五、近來、歩引・盤引率甚だしきに付き、爾今、月三回、本組合各支部二名の委員を挙げ、会社役員立会の上検炭する事。
- 六、右各項目は、炭鉱汽船会社所属鉱一般に統一実行の事。

いづれも、最も大事な点を主張し、しかもたいへん練られた用意周到な要求でした。一の項では、いつも争議の後に責任者の首切りとか追放がみられたが、ここでは事後の報復を排除し、二の項で、すべて組合と協議の上解決するとして、労働組合を認知させ、六の項に、この要求は北炭に働く全体の統一要求であると強調しています。

### 各ヤマもたたかう体制

要求書を突きつけた支部連合会では、各ヤマで連日演説会を開き高揚感にあふれます。一方、「スト参加者は餓首」だとの流言が意識的に流され、緊迫の度は日増しに高まっています。

## 結び目



日本共産党 夕張市議

# くまがい桂子

### 「3者のもたれ合い」質す時

財政破綻から10年。節目の3月初旬には臨時議会が開かれ、「夕張再生 13年で353億円増」の新聞報道。

「子育て政策」や「若者世代の移住・定住政策」などに重点が置かれた、財政再生計画の抜本的な見直しが行われ、46の新事業に総務省が同意しました。

続く第1回定例議会では、「2子目以降の保育料は無料」「中学生までの医療費はほとんどの家庭で無料」「高校生の通学費用も無料に」「定住・移住に向けて各種の補助金」(1面記事)など等具体的な政策が明らかに。

「地方自治は地域住民の健全な発達に資さなければならず、そのためには財政運営のための財源を確保すべき」と憲法94条にある。「これも、これまでの議会質問の中で述べてきました。

しかし、並行して10年後の2026年まで、今後毎年26億円ずつ、総額353億円の返済は続きます。

毎年必ず、私が議会質問で訴えてきた、「夕張財政破たん」の国や道の責任、企業や銀行の貸し手責任等」については、一言も触れられていません。

07年11月15日の十勝毎日新聞の記事には、―相次ぐ炭鉱閉山を受け、「観光」をまちの主要産業に位置づけ、1979年から24年間、市長として夕張市をけん引した故・中田鉄治氏。身の丈に合わない大型予算による“ハコモノ行政”や不適正な財務処理は、借金を増大させた。加えて、多額の地方債発行を認め続けた国や、不正な財務処理に見てみぬ振りをした道。3者の“もたれ合い”が破綻へと導いた。―とあります。

「3者のもたれ合い」―いよいよ、これを質す時。主役はこの10年で培った、「実践的住民自治&社会力」ですね！